

安全・安心のまちづくり

防災性向上のための街区整備



【密集市街地整備事業】

▶ 門真市本町地区 (大阪府門真市)

市営住宅や公設市場跡地等の未利用市有地を多く含む当地区において、防災性向上のため、これら用地を活用した防災道路の拡幅及び地区内建築物の不燃化が急務でした。URは、密集市街地の整備改善と防災性の向上を図るため、事業種地となる市有地を有効活用し、権利者、門真市、UR及び民間事業者の適切な役割分担のもと、防災街区整備事業を実施しました。また、消防活動困難区域の解消とともに、周辺環境に配慮した建築条件(階数、敷地面積)を付すことにより良好な居住環境を形成しました。



整備前



整備後

防災機能を備えた、地域に開かれた緑豊かな公園づくり



【防災公園街区整備事業】

▶ 安満遺跡公園 (大阪府高槻市)

京都大学大学院農学研究科附属農場の移転跡地において、弥生時代の遺跡を活用したい高槻市からの要請を受けて、広域避難地の機能を有する防災公園を整備しました。市街地部分の敷地を高槻市に譲渡され、高槻市は市街地部分において子育て支援施設及び道路を整備し、2019年3月に防災公園の一部(西エリ74ha)が開園しました。



ボーンランド Park Center前

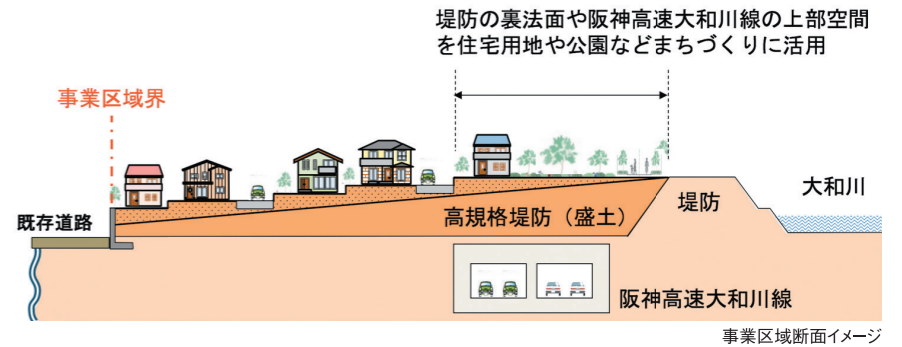
高規格堤防及び高速道路の整備と一体となったまちづくり



【土地区画整理事業】

▶ 大和川左岸(三宝)地区 (大阪府堺市)

大和川左岸(三宝)地区では、河川氾濫等の災害に対する防災性向上のため高規格堤防の整備と、大阪都心部における新たな環状道路として阪神高速大和川線の整備が進められています。URは土地区画整理事業による一体整備を行い、国土交通省、堺市と連携して安全・安心のまちづくりを進めています。



大和川左岸(三宝)地区整備状況(2022年6月現在)

事前防災まちづくりの支援



▶ 和歌山県及び徳島県沿岸部

URでは東日本大震災の復興支援事業やこれまでの事業で培ったノウハウを活かし、南海トラフ巨大地震に備えた津波防災まちづくりの検討支援を行っています。和歌山県沿岸部の各地方公共団体との間では復興計画事前策定に向けた検討の支援等を行っています。また、徳島県美波町は南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域の指定を受けている地域です。URは美波町と津波防災まちづくりの推進に向けた協力協定を締結し、町が行う高台移転への技術的な助言等を行っています。

